

特種電気工事資格者認定証の交付申請に必要な書類の作り方

那覇産業保安監督事務所 保安監督課
(令和3年3月版)

この案内書は、電気工事士法第4条の2第1項の規定に基づき、次のⅠ、Ⅱに掲げる特種電気工事の種類に応じて、①又は②に該当する者が特種電気工事資格者認定証（以下「認定証」という。）の交付申請を那覇産業保安監督事務所に行う場合に使用できます。

Ⅰ ネオン工事

- ①電気工事士であって、電気工事士免状（以下「免状」という。）の交付を受けた後、一般用電気工作物又は電気事業法第38条第4項に規定する自家用電気工作物に係る工事のうちネオン用として設置される分電盤、主開閉器（電源側の電線との接続部分を除く。）、タイムスイッチ、点滅器、ネオン変圧器、ネオン管及びこれらの附属設備を設置し、又は変更する工事に関し5年以上の実務の経験を有し、かつ、経済産業大臣が定めるネオン工事に関する講習（以下「ネオン工事資格者認定講習」という。）の課程を修了した者。
- ②電気工事士であって、免状の交付を受けた後、経済産業大臣が定めるネオン工事に必要な知識及び技能を有するかどうかを判定するための試験に合格し、「ネオン工事試験合格証」の交付を受けた者。

Ⅱ 非常用予備発電装置工事

- ①電気工事士であって、免状の交付を受けた後、電気工作物に係る工事のうち非常用予備発電装置として設置される原動機、発電機、配電盤（他の需要設備との間の電線との接続部分を除く。）及びこれらの附属設備を設置し、又は更新する工事に関し5年以上の実務の経験を有し、かつ、経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に関する講習（以下「非常用予備発電装置工事資格者認定講習」という。）の課程を修了した者。
- ②経済産業大臣が定める受験資格を有する者であって、経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に関する講習（①に規定するものを除く。）の課程を修了し、かつ、経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に必要な知識及び技能を有するかどうかを判定するための試験に合格し、「非常用予備発電装置工事講習修了及び試験合格に関する証書」の交付を受けた者。

認定証交付申請に必要な書類

特種電気工事資格者（ネオン工事、非常用予備発電装置工事）の認定証交付申請には、認定申請書（様式1の5）及び認定証交付申請書（様式5の2）が必要であり、添付書類等については次の表を参考にして下さい。

申請に必要な書類

資格の種類		特種電気工事資格者			
		ネオン工事		非常用予備発電装置工事	
資格要件		電気工事士免状取得後、ネオン工事に係る工事に5年以上の実務経験を有し、かつ、ネオン工事資格者認定講習を修了した者	「ネオン工事試験合格証」の交付を受けている者	電気工事士免状取得後、非常用予備発電装置に係る工事に関し5年以上の実務経験を有し、かつ、非常用予備発電装置工事資格者認定講習を修了した者	「非常用予備発電装置工事講習修了及び試験合格に関する証書」の交付を受けている者
認定申請書		電気工事士法第4条の2第3項の認定申請書（様式1の5）			
添付書類	1 認定の基準に該当する者であることを証明する書類	電気工事士免状の写し	ネオン工事試験合格証	電気工事士免状の写し	非常用予備発電装置工事講習修了及び試験合格に関する証書
	2 実務経験証明書	○		○	
	3 認定講習修了証及び修了証の記載事項を証明する書類	○		○	
	4 ネオン工事試験又は非常用予備発電装置工事講習及び試験が工事で定める内容に合致していることを証明する書類		○		○
認定証交付申請書		特種電気工事資格者認定証交付申請書（様式5の2）			
添付書類等	1 収入印紙 4,700円			○	
	2 住民票 (発行後3ヶ月以内のものにしてください)			○	
	3 写真2枚 (縦4cm×横3cm、裏面に氏名、生年月日記入)			○	
	4 返信用封筒 (認定証8.5cm×6.5cmの入るもの、切手不要)			○	

申請書類の作成方法

1 特種電気工事資格者認定証交付申請書

(1) 様式

電気工事士法に基づく様式5の2（この案内書に添付してあります。）により作成してください。記載は黒又は青のペン又はボールペン書きにしてください。

ワープロ等で作成しても構いません。

(2) 収入印紙

収入印紙4,700円を消印しないで所定の箇所に貼って下さい。収入印紙の金額に過不足があると受理できません。また、現金、郵便切手、都道府県で発行する収入証紙などの場合も受理できません。

(3) 住所

住所は、本人の現住所（郵便物の届く住居表示）を何番何号何々方、何々会社社宅何棟何号室まではっきりと記載して下さい。

(4) 「特種電気工事資格者認定証又は認定電気工事従事者認定証を受ける資格」の欄

●ネオン工事

- ・電気工事士免状取得後、5年以上の実務経験を有し、かつ、「ネオン工事資格者認定講習」修了で取得する場合は、1を○で囲んで下さい。
- ・「ネオン工事試験合格証」の交付を受けて取得する場合は、2を○で囲んで下さい。

●非常用予備発電装置工事

- ・電気工事士免状取得後、5年以上の実務経験を有し、かつ、「非常用予備発電装置工事資格者認定講習」修了で取得する場合は、3を○で囲んで下さい。
- ・「非常用予備発電装置工事講習修了及び試験合格に関する証書」の交付を受けて取得する場合は、4を○で囲んで下さい。

※なお、5、6、7、8には○を付けないこと。

(5) 宛先

宛先は、那覇産業保安監督事務所長として下さい。

(6) その他

住所の上に申請年月日（申請当日の年月日）を必ず記載して下さい。また、氏名は原則住民票に記載されているとおり記載して下さい。

2 電気工事士法第4条の2第4項の認定申請書

(1) 様式

電気工事士法に基づく様式1の5（この案内書に添付してあります。）により作成して下さい。記載は黒又は青のペンまたはボールペン書きにして下さい。

ワープロ等で作成しても構いません。

(2) 住所

住所は、本人の現住所（郵便物の届く住所表示）を何番何号何々方、何々会社社宅何棟何号室まではっきりと記載して下さい。

(3) 宛先

宛先は、那覇産業保安監督事務所長として下さい。

(4) 「申請に係る認定証の種類」の欄

認定を受けたい特種電気工事の種類に応じて、「特種電気工事資格者（ネオン工事）」又は「特種電気工事資格者（非常用予備発電装置工事）」と記載して下さい。

(5) 「電気工事に関する資格」の欄

●ネオン工事

- ・「ネオン工事試験合格証」の交付を受けて取得する場合は、「電気工事に関して合格した試験」の欄に試験の種類及び資格取得年月日を記入すること。
- ・電気工事士免状取得後、ネオンに係る工事に関して5年以上の実務経験を有し、かつ、「ネオン工事資格者認定講習」を修了して取得する場合は、「電気工事士又は電気主任技術者の免状」の欄に免状の種類及び資格取得年月日を、「修了した講習」の欄に講習の種類及び修了年月日を記載し、「電気工事士法施行規則第4条の第1項の表の下欄に掲げる電気工事の種類及びその経験年数」の欄の「ネオンに関する工事」を○で囲み、経験年数を記載すること。

●非常用予備発電装置工事

- ・「非常用予備発電装置工事講習修了及び試験合格に関する証書」の交付を受けて取得する場合は、「電気工事に関して合格した試験」の欄に試験の種類及び資格取得年月日を記入すること。
- ・電気工事士免状取得後、非常用予備発電装置に係る工事に関して5年以上の実務経験を有し、かつ、「非常用予備発電装置工事資格者認定講習」を修了して取得する場合は、「電気工事士又は電気主任技術者の免状」の欄に免状の種類及び資格取得年月日を、「修了した講習」の欄に講習の種類及び修了年月日を記載し、「電気工事士法施行規則第4条の第1項の表の下欄に掲げる電気工事の種類

及びその経験年数」の欄の「非常用予備発電装置に関する工事」を○で囲み、経験年数を記載すること。

※認定を受けるのに必要な欄以外は記入しないこと。

(6) その他

住所の上に申請年月日（申請当日の年月日。郵送申請の場合は発送年月日。）を必ず記載して下さい。また、氏名は原則住民票に記載されているとおり記載して下さい。

7 写真

写真は、この申請書提出の6か月以内に撮影した縦4cm×横3cmのものが2枚必要です。なお、写真の裏面には氏名、生年月日を記載して下さい。

8 返信用封筒

返信用封筒は、認定電気工事従事者認定証（縦6.5cm×横8.5cm）が入る封筒に返信先を記入して下さい。なお、返信用切手は不要です。

9 書類の提出先

申請書類は、申請者の住所地を管轄する産業保安監督部へ提出することとなります。沖縄県に住所地がある申請者は、那覇産業保安監督事務所へ提出して下さい。郵送による提出も可能ですが、書留又は簡易書留（宅配便可）で提出して下さい。

提出先

〒900-0006

沖縄県那覇市おもろまち2-1-1

那覇第二地方合同庁舎1号館4階

那覇産業保安監督事務所保安監督課 あて

TEL：098-866-6474

実務経験証明書の証明人について

電気工事士法第4条の2第3項の規定により特種電気工事資格者認定証の交付を受けるために必要な実務経験の証明人については、次に掲げるものを有効とします。

- (1) 申請者が、電気工事業者等に現に雇用されている場合又は過去において雇用されていた場合において、当該申請者の雇用主又は雇用主であった者
- (2) 申請者が、電気事業法施行規則（平成7年通商産業省令第77号）第52条第2項に規定する別に告示される要件に該当する者であって、同行に規定する委託契約の相手方として現に認められている者又は過去において認められていた者である場合において、次に掲げる者のうちいずれかが証明する場合。
 - ① 当該委託契約に係る発電所又は需要設備を設置している者又は設置していた者
 - ② 当該申請者が会員として加入している公益法人の代表者
- (3) 申請者が電気工事業者等の代表者である場合は、次に掲げる者
 - ① 一般財団法人電気工事技術講習センターその他電気に関する工事又は保安に係る事業を行う公益法人の代表者
 - ② 各都道府県電気工事業工業組合その他これに類する法人格を有する団体の代表者
 - ③ 2以上の電気工事業者等

記載例（電気工事士免状取得後、ネオンに係る工事に関し5年以上の実務経験を有し、かつ、「ネオン工事資格者認定講習」を修了して取得する場合）

様式第1の5（第5条の2関係）

電気工事士法第4条の2第4項の認定申請書

令和2年4月1日

那覇産業保安監督事務所長 殿

〒900-0000

申請者 住 所 沖縄県〇〇市〇〇1-2-3

氏 名 那覇 太郎

生年月日 平成〇〇年〇〇月〇〇日 生

電気工事士法第4条の2第3項の規定により認定を受けたいので、次のとおり申請します。

申請に係る認定証の種類		特種電気工事資格者（ネオン工事）		
◎ 電 気 工 事 に 関 す る 資 格	電気工事に関して合格した試験	試験の種類		
		資格取得年月日	年 月 日	
	電気工事士又は電気主任技術者の免状	免状の種類	第二種電気工事士	
		資格取得年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	
	修了した講習	講習の種類	ネオン工事資格者認定講習	
		修了年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	
	電気工事士法施行規則第4条の2第1項の表の下欄に掲げる電気工事の種類及びその経験年数	ネオンに関する工事		
非常用予備発電装置に関する工事		〇〇年		
電気工事士法施行規則第2条の4第1項に規定する電気に関する工事の経験年数		年		
電気工作物の工事、維持又は運用に関する実務の経験年数		年		
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄		

記載例（電気工事士免状取得後、非常用予備発電装置に係る工事に関し5年以上の実務経験を有し、かつ、「非常用予備発電装置工事資格者認定講習」を修了して取得する場合）
様式第1の5（第5条の2関係）

電気工事士法第4条の2第4項の認定申請書

令和2年4月1日

那覇産業保安監督事務所長 殿

〒900-0000

申請者 住 所 沖縄県〇〇市〇〇1-2-3

氏 名 那覇 太郎

生年月日 平成〇〇年〇〇月〇〇日 生

電気工事士法第4条の2第3項の規定により認定を受けたいので、次のとおり申請します。

申請に係る認定証の種類		特種電気工事資格者（非常用予備発電装置工事）		
◎ 電 気 工 事 に 関 す る 資 格	電気工事に関して合格した試験	試験の種類		
		資格取得年月日	年 月 日	
	電気工事士又は電気主任技術者の免状	免状の種類	第二種電気工事士免状	
		資格取得年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	
	修了した講習	講習の種類	非常用予備発電装置工事認定講習	
		修了年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	
	電気工事士法施行規則第4条の2第1項の表の下欄に掲げる電気工事の種類及びその経験年数	ネオンに関する工事		
		非常用予備発電装置に関する工事		
	電気工事士法施行規則第2条の4第1項に規定する電気に関する工事の経験年数	〇〇年		
	電気工作物の工事、維持又は運用に関する実務の経験年数	年		
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄		

記載例（「ネオン工事試験合格証」の交付を受けて取得する場合）

様式第1の5（第5条の2関係）

電気工事士法第4条の2第4項の認定申請書

令和2年4月1日

那覇産業保安監督事務所長 殿

〒900-0000

申請者 住 所 沖縄県〇〇市〇〇1-2-3

氏 名 那覇 太郎

生年月日 平成〇〇年〇〇月〇〇日 生

電気工事士法第4条の2第3項の規定により認定を受けたいので、次のとおり申請します。

申請に係る認定証の種類		特種電気工事資格者（ネオン工事）	
◎ 電 気 工 事 に 関 す る 資 格	電気工事に関して合格した試験	試験の種類	ネオン工事試験
		資格取得年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日
	電気工事士又は電気主任技術者の免状	免状の種類	
		資格取得年月日	年 月 日
	修了した講習	講習の種類	
		修了年月日	年 月 日
電気工事士法施行規則第4条の2第1項の表の下欄に掲げる電気工事の種類及びその経験年数	ネオンに関する工事 非常用予備発電装置に関する工事	年	
		年	
	電気工事士法施行規則第2条の4第1項に規定する電気に関する工事の経験年数	年	
電気工作物の工事、維持又は運用に関する実務の経験年数	年		
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄	

記載例（「非常用予備発電装置講習修了及び試験合格に関する証書」の交付を受けて取得する場合）

様式第1の5（第5条の2関係）

電気工事士法第4条の2第4項の認定申請書		令和2年4月1日		
那覇産業保安監督事務所長 殿		〒900-0000		
申請者 住 所		沖縄県〇〇市〇〇1-2-3		
氏 名		那覇 太郎		
生年月日		平成〇〇年〇〇月〇〇日 生		
電気工事士法第4条の2第3項の規定により認定を受けたいので、次のとおり申請します。				
申請に係る認定証の種類		特種電気工事資格者（非常用予備発電装置工事）		
◎ 電 気 工 事 に 関 す る 資 格	電気工事に関して合格した試験	試験の種類	非常用予備発電装置講習及び試験	
		資格取得年月日	令和〇〇年〇〇月〇〇日	
	電気工事士又は電気主任技術者の免状	免状の種類		
		資格取得年月日	年	月 日
	修了した講習	講習の種類		
		修了年月日	年	月 日
	電気工事士法施行規則第4条の2第1項の表の下欄に掲げる電気工事の種類及びその経験年数	ネオンに関する工事		
		非常用予備発電装置に関する工事		
		年		
	電気工事士法施行規則第2条の4第1項に規定する電気に関する工事の経験年数	年		
年				
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄		

記載例（電気工事士免状取得後、ネオンに係る工事に関し5年以上の実務経験を有し、かつ、「ネオン工事資格者認定講習」を修了して取得する場合）

様式第5の2（第9条の2関係）

認定電気工事従事者認定証交付申請書

令和2年4月1日

那覇産業保安監督事務所長 殿

〒900-0000

申請者 住 所 沖縄県〇〇市〇〇1-2-3

(フリガナ) ナハ タロウ

氏 名 那覇 太郎

生年月日 平成〇〇年〇〇月〇〇日 生

電気工事士法第4条の2第1項の規定により認定電気工事従事者認定証の交付を受けたいので、次のとおり申請します。

◎特種電気工事資格者認定証又は認定電気工事従事者認定証を受ける資格

- ① 電気工事士免状の交付を受け、実務経験を有し、かつ、経済産業大臣が定めるネオン工事に関する講習を修了した。
- 2 経済産業大臣が定めるネオン工事に必要な知識及び技能を有するかどうかを判定するための試験に合格した。
- 3 電気工事士免状の交付を受け、実務経験を有し、かつ、経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に関する講習を修了した。
- 4 経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に関する講習の課程を修了し、かつ、経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に必要な知識及び技能を有するかを判定するための試験に合格した。
- 5 第一種電気工事士試験に合格した。
- 6 第二種電気工事士免状の交付を受け、かつ、実務経験を有し又は講習を修了した。
- 7 電気主任技術者免状の交付を受け又は旧電気事業主任技術者の資格を有し、かつ、実務経験を有し又は講習を修了した。
- 8 上記5から7までの者と同等以上の知識及び技能を有すると認定された。

※ 受 付 欄

※ 経 過 欄

記載例（電気工事士免状取得後、非常用予備発電装置に係る工事に関し5年以上の実務経験を有し、かつ、「非常用予備発電装置工事資格者認定講習」を修了して取得する場合）
様式第5の2（第9条の2関係）

認定電気工事従事者認定証交付申請書

令和2年4月1日

那覇産業保安監督事務所長 殿

〒900-0000

申請者 住 所 沖縄県〇〇市〇〇1-2-3

(フリガナ) ナハ タロウ

氏 名 那覇 太郎

生年月日 平成〇〇年〇〇月〇〇日 生

電気工事士法第4条の2第1項の規定により認定電気工事従事者認定証の交付を受けたいので、次のとおり申請します。

◎特種電気工事資格者認定証又は認定電気工事従事者認定証を受ける資格

- 1 電気工事士免状の交付を受け、実務経験を有し、かつ、経済産業大臣が定めるネオン工事に関する講習を修了した。
- 2 経済産業大臣が定めるネオン工事に必要な知識及び技能を有するかどうかを判定するための試験に合格した。
- ③ 電気工事士免状の交付を受け、実務経験を有し、かつ、経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に関する講習を修了した。
- 4 経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に関する講習の課程を修了し、かつ、経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に必要な知識及び技能を有するかを判定するための試験に合格した。
- 5 第一種電気工事士試験に合格した。
- 6 第二種電気工事士免状の交付を受け、かつ、実務経験を有し又は講習を修了した。
- 7 電気主任技術者免状の交付を受け又は旧電気事業主任技術者の資格を有し、かつ、実務経験を有し又は講習を修了した。
- 8 上記5から7までの者と同等以上の知識及び技能を有すると認定された。

※ 受 付 欄

※ 経 過 欄

記載例（「ネオン工事試験合格証」の交付を受けて取得する場合）

様式第5の2（第9条の2関係）

認定電気工事従事者認定証交付申請書

令和2年4月1日

那覇産業保安監督事務所長 殿

〒900-0000

申請者 住 所 沖縄県〇〇市〇〇1-2-3

(フリガナ) ナハ タロウ

氏 名 那覇 太郎

生年月日 平成〇〇年〇〇月〇〇日 生

電気工事士法第4条の2第1項の規定により認定電気工事従事者認定証の交付を受けたいので、次のとおり申請します。

◎特種電気工事資格者認定証又は認定電気工事従事者認定証を受ける資格	<ol style="list-style-type: none">1 電気工事士免状の交付を受け、実務経験を有し、かつ、経済産業大臣が定めるネオン工事に関する講習を修了した。② 経済産業大臣が定めるネオン工事に必要な知識及び技能を有するかどうかを判定するための試験に合格した。3 電気工事士免状の交付を受け、実務経験を有し、かつ、経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に関する講習を修了した。4 経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に関する講習の課程を修了し、かつ、経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に必要な知識及び技能を有するかを判定するための試験に合格した。5 第一種電気工事士試験に合格した。6 第二種電気工事士免状の交付を受け、かつ、実務経験を有し又は講習を修了した。7 電気主任技術者免状の交付を受け又は旧電気事業主任技術者の資格を有し、かつ、実務経験を有し又は講習を修了した。8 上記5から7までの者と同等以上の知識及び技能を有すると認定された。
-----------------------------------	--

※ 受 付 欄

※ 経 過 欄

記載例（「非常用予備発電装置講習修了及び試験合格に関する証書」の交付を受けて取得する場合）

様式第1の5（第5条の2関係）

認定電気工事従事者認定証交付申請書	
令和2年4月1日	
那覇産業保安監督事務所長 殿	
〒900-0000	
申請者 住 所 <u>沖縄県〇〇市〇〇1-2-3</u>	
(フリガナ) ナハ タロウ	
氏 名 <u>那覇 太郎</u>	
生年月日 <u>平成〇〇年〇〇月〇〇日</u> 生	
電気工事士法第4条の2第1項の規定により認定電気工事従事者認定証の交付を受けたいので、次のとおり申請します。	
◎特種電気工事資格者認定証又は認定電気工事従事者認定証を受ける資格	<ol style="list-style-type: none">1 電気工事士免状の交付を受け、実務経験を有し、かつ、経済産業大臣が定めるネオン工事に関する講習を修了した。2 経済産業大臣が定めるネオン工事に必要な知識及び技能を有するかどうかを判定するための試験に合格した。3 電気工事士免状の交付を受け、実務経験を有し、かつ、経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に関する講習を修了した。④ 経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に関する講習の課程を修了し、かつ、経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に必要な知識及び技能を有するかを判定するための試験に合格した。5 第一種電気工事士試験に合格した。6 第二種電気工事士免状の交付を受け、かつ、実務経験を有し又は講習を修了した。7 電気主任技術者免状の交付を受け又は旧電気事業主任技術者の資格を有し、かつ、実務経験を有し又は講習を修了した。8 上記5から7までの者と同等以上の知識及び技能を有すると認定された。
※ 受 付 欄	※ 経 過 欄

実務経験証明書

ふりがな	なは たろう		生年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日	
氏名	那覇 太郎				
現住所	〒900-0000 沖縄県〇〇市〇〇1-2-3		TEL	090-9999-9999	
現在の勤務先の 名称及び所在地	名称	〇×電気工事株式会社		TEL	098-000-0000
	所在地	〒900-0000 沖縄県××市××1-2-3			
実務経験の期間及び内容					
所属部署 及び役職名	期間	職務の内容			
電気工事課 工事係員	平成25年4月 ～ 令和2年3月	<p>（平成25年3月1日 第二種電気工事士免状取得） 左記の期間中に、一般用電気工作物及び最大電力500kW以上の自家用電気工作物に係る工事のうちネオン用として設置されるネオン管、ネオン変圧器、・・・の新設及び取り換え工事に作業者として〇〇件従事した。</p> <p>【一般用電気工作物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇工事（ネオン工事に係る部分） H25.4.1～H25.7.13 （内20日従事） ・〇〇商店ネオン工事 H25.8.1～H25.12.20 （内80日従事） ・ ・ ・ <p style="text-align: right;">そのほか 〇〇件</p> <p>【自家用電気工作物】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・◆◆(株)××ビルネオン設置工事（最大電力600kW） H26.3.3～H26.12.15 （内40日従事） ・ ・ ・ <p style="text-align: right;">そのほか 〇〇件</p>			
通算期間	7年0月	_____			
<p>上記のとおり、実務経験を有することを証明します。</p> <p style="text-align: right;">令和2年4月1日</p> <p>所在地 〒900-0000 沖縄県××市××1-2-3</p> <p>法人名 〇×電気工事株式会社（沖縄県知事届出第〇〇〇〇〇号）</p> <p>代表者 (役職氏名) 代表取締役 経済 太郎 印</p>					

(備考)

- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

記載例（非常用予備発電装置工事の場合）

実務経験証明書

ふりがな	なは たろう	生年月日	平成〇〇年〇〇月〇〇日	
氏名	那覇 太郎			
現住所	〒900-0000 沖縄県〇〇市〇〇1-2-3		TEL	090-9999-9999
現在の勤務先の 名称及び所在地	名称	株式会社〇×工業		TEL 098-000-0000
	所在地	〒900-0000 沖縄県××市××1-2-3		
実務経験の期間及び内容				
所属部署 及び役職名	期間	職務の内容		
設備管理課 係員	平成25年4月 ～ 令和2年3月	<p>(平成25年3月1日 第二種電気工事士免状取得) 左記の期間中に、最大電力500kW以上の自家用電気工作物事業場に設置する非常用予備発電装置の据付工事に作業者として〇〇件従事した。</p> <p>【作業案件】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・◆◆(株)××ビル (最大電力600kW) H25.4.1～H25.4.25 (内10日従事) ・◇◇(株)△△ビル (最大電力550kW) H25.5.10～H25.6.2 (内10日従事) ・(有)〇〇■■工場 (最大電力1,200kW) H25.7.13～H25.12.20 (内50日従事) <li style="text-align: center;">・ ・ ・ <li style="text-align: right;">そのほか 〇〇件 		
通算期間	7年0月	_____		
<p>上記のとおり、実務経験を有することを証明します。</p> <p style="text-align: right;">令和2年4月1日</p> <p>所在地 〒900-0000 沖縄県××市××1-2-3</p> <p>法人名 株式会社〇×工業</p> <p>代表者 (役職氏名) 代表取締役 経済 太郎 印</p>				

(備考)

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

様式1の5 (第5条の2関係)

電気工事士法第4条の2第4項の認定申請書

年 月 日

那覇産業保安監督事務所長 殿

〒

申請者 住 所 _____

氏 名 _____ 印

生年月日 _____ 年 月 日 生

電気工事士法第4条の2第4項の規定により認定を受けたいので、次のとおり申請します。

申請に係る認定証の種類		認定電気工事従事者認定証	
◎ 電 気 工 事 に 関 す る 資 格	電気工事に関して合格した試験	試験の種類	
		資格取得年月日	年 月 日
	電気工事士又は電気主任技術者の免状	免状の種類	
		資格取得年月日	年 月 日
	修了した講習	講習の種類	
		修了年月日	年 月 日
電気工事士法施行規則第4条の2第1項の表の下欄に掲げる電気工事の種類及びその経験年数	ネオンに関する工事		
	非常用予備発電装置に関する工事		
			年
電気工事士法施行規則第2条の4第1項に規定する電気に関する工事の経験年数			年
電気工作物の工事、維持又は運用に関する実務の経験年数			年
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄	

(備考)

- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- ◎印欄の記載事項については、記載した事項を証明する書類を添付すること。
- ※印欄には、記入しないこと。
- 氏名を記載し、押印することに代えて、署名することができる。この場合において、署名は必ず本人が自署するものとする。

収入印紙
4,700 円
(消印をしないこと)

様式第 5 の 2 (第 9 条の 2 関係)

認定電気工事従事者認定証交付申請書

年 月 日

那覇産業保安監督事務所長 殿

〒

申請者 住 所 _____

(フリガナ)

氏 名 _____

生年月日 _____ 年 月 日 生

電気工事士法第 4 条の 2 第 1 項の規定により認定電気工事従事者認定証の交付を受けたいので、次のとおり申請します。

◎特種電気工事資格者認定証又は認定電気工事従事者認定証を受ける資格	1 電気工事士免状の交付を受け、実務経験を有し、かつ、経済産業大臣が定めるネオン工事に関する講習を修了した。 2 経済産業大臣が定めるネオン工事に必要な知識及び技能を有するかどうかを判定するための試験に合格した。 3 電気工事士免状の交付を受け、実務経験を有し、かつ、経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に関する講習を修了した。 4 経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に関する講習の課程を修了し、かつ、経済産業大臣が定める非常用予備発電装置工事に必要な知識及び技能を有するかを判定するための試験に合格した。 5 第一種電気工事士試験に合格した。 6 第二種電気工事士免状の交付を受け、かつ、実務経験を有し又は講習を修了した。 7 電気主任技術者免状の交付を受け又は旧電気事業主任技術者の資格を有し、かつ、実務経験を有し又は講習を修了した。 8 上記 5 から 7 までの者と同等以上の知識及び技能を有すると認定された。
-----------------------------------	---

※ 受 付 欄

※ 経 過 欄

(備考)

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
- 2 ◎印欄には、該当する事項を○で囲み、これを証明する書類を添付すること。
- 3 ※印欄には、記入しないこと。
- 4 この申請書には、住民票の写し及び写真（この申請書提出前 6 月以内に撮影した縦 4 cm、横 3 cm のもので、裏面に氏名を記載すること。）2 枚を添付すること。

※連絡先（電話番号） _____

実務経験証明書

ふりがな		生年月日	
氏名			
現住所	〒		TEL
現在の勤務先の 名称及び所在地	名称		TEL
	所在地	〒	
実務経験の期間及び内容			
所属部署 及び役職名	期間	職務の内容	
通算期間		_____	
<p>上記のとおり、実務経験を有することを証明します。</p> <p style="text-align: right;">年 月 日</p> <p>所在地 〒</p> <p>法人名</p> <p>代表者</p> <p>(役職氏名)</p> <p style="text-align: right;">印</p>			

(備考)

1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。